札幌市立大学の学生が案内する

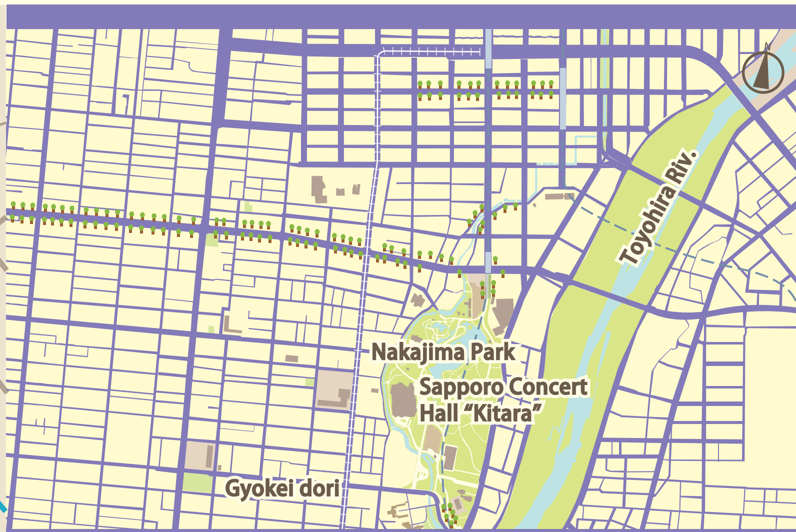
Wさん

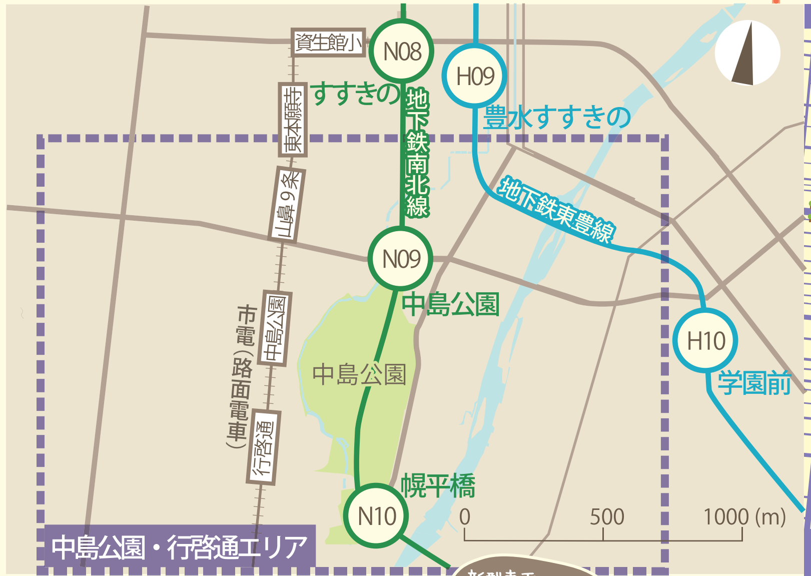
さっぽろみどりマップ

今昔散歩

こんじゃく

中島公園・行啓通エリア

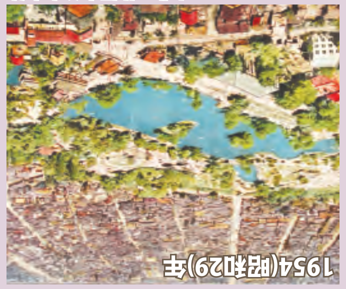




エリアのおすすめスポット

中島公園

1887(明治20)年に行われた北海道物産共進会場の跡地を、中島遊園地として整備したのが中島公園の始まりです。池の水景や藻岩山への眺望を生かした「池泉回遊式庭園」として、1910(明治43)年に第一期工事が完成し、中島公園と改称されました。現在では、札幌の文化の拠点として、札幌コンサートホールkitaraなどの施設が集まっています。



1954(昭和29)年

出典：札幌市公文書館

START 1 札幌市こども人形劇場 こぐま座

全国初の公立人形劇場が1976（昭和51）年にオープン。市内で活躍しているアマチュア人形劇師たちが中心となって、人形劇や紙芝居などの上演を行う、市民に愛される小さくてかわいらしい劇場です。

1 藤棚

開花時期は甘い香りが一帯に漂い、白や薄紫色の花が見事です。

現在の大きな藤棚は十数年前に新調されたものですが、フジ自体は明治時代の岡田花園だった頃から見られたようです。菖蒲池（しょうぶいけ）を眺められるデッキもあります。

2 八窓庵・豊平館

豊平館は2015（平成27）年度末まで改修工事中。

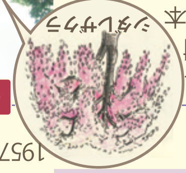
窓が8つあるか数えてみよう！

八窓庵（外観見学）：[観覧料]無料

国の重要文化財。八窓庵は、江戸時代初期の大名で茶人でもあった小堀遠州の設計と伝えられ、1919（大正8）年に江州（滋賀県）から札幌へ、1971（昭和46）年に現在の場所へ移築されました。

豊平館は1880（明治13）年、現在の市民ホールの場所に、迎賓館・洋式ホテルとして開拓使が建てたもので、1957（昭和32）年に移築されました。

2 日本庭園



1963(昭和38)年開園の北方系樹種も導入された日本庭園。道内各地から集めたというイチイ・トドマツ・ツツジ類のほか、ニリンソウ・エゾエンゴサクなどの野の花、札幌では珍しいシダレザクラも植栽されています。石灯籠は当時の最高級の御影石を使っているそうです。

池越しに庭園を撮影してみよう

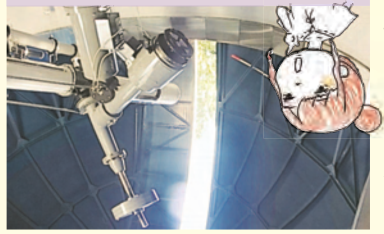
[入園料] 無料

3 珍しいシダレヤナギ

エゾヤナギやシダレヤナギがある中で、一本珍しいヤナギがあります。遠くから見るとシダレヤナギ、でも枝はウンリュウヤナギのように、らせん状にうねりながら伸びています。誰が言い始めたか、シダレウンリュウヤナギと呼ばれています。

3 札幌市天文台

1958（昭和33）年にオープンした札幌で最も古い天文台です。天文台のある小山は、明治時代に料亭や花の名所であった岡田花園があったことから「岡田山」と呼ばれています。昼間は太陽の観察、夜間は星の観察がメインとなっていて、街中にいながら宇宙を感じられます。



[入館料] 無料

4 札幌コンサートホール Kitara（キタラ）

1997(平成9)年にオープンし、コンサートやイベントなどが行われ、芸術のまち札幌の一翼を担っています。かつて、遊園地「子供の国」があった場所につくられました。

この付近は針葉樹（プンゲンストウヒ・ヨーロッパトウヒ）の割合が高く、落ち着いた大人の雰囲気を醸し出しています。

[営業時間] 10:00 ～ 17:30
（公演日の場合は終演時間による）

4 香の広場（かおり）

以前「百花園」と呼ばれたバラの名所があった場所に造られた庭で、バラを中心に、春のチューリップから始まり、香りの良い花木や一年草、シュウメイギクなどの宿根草が咲き、春から秋まで楽しめる隠れた花のスポットとなっています。

彫刻の周りをバラが鮮やかに彩ります。

秋に花が咲くシュウメイギク

5 イロハモミジ

1915（大正4）年に京都嵐山より取り寄せたもので、30本ぐらいが並木状に植えられています。

ヤマモミジより葉が小さく、葉の切れ込みも深いのが特徴。紅葉はもちろん、新葉の明るい色合いも美しい並木です。

5 GOAL 山鼻公園

札幌で最初の児童公園のひとつとして、1952（昭和27）年に開園しました。1881（明治14）年より、山鼻屯田兵村の練兵場の一部として使用され、明治・大正・昭和の歴代天皇や皇太子が行幸された際のゆかりの地でもあります。園内には、1894（明治27）年に建立された「山鼻兵村開設碑」があります。

6 お声掛かりの柏の子孫

1881（明治14）年、明治天皇ご行幸の折、山鼻小学校の外にある大樹の名前をお尋ねになったことから「お声掛かりの柏」と親しまれてきました。1976（昭和51）年に倒木の恐れがあり、惜しくも伐採されてしまいましたが、その幼木が山鼻公園に移植されました。

昔の面影を残す場所へ

懐かしい風景ですね

昔の面影と新しさが共存したこのエリアを、ゆっくり散歩してみませんか。※場所はマップでご確認ください

A 中島公園 森の歌（山内壮夫（やまうちたけお）の彫刻）

現在

動物と植物と人が円柱状に繋がっています。

1984(昭和59)年

出典：札幌市公文書館

現在の「香りの広場」にあった「百花園」には、道内出身の彫刻家 山内壮夫の彫刻5体が設置されていました。写真の彫刻「森の歌」は、公園の再整備で作り直して移設され、今は児童会館前にあり、当時の名残をとどめています。

B 中島公園 菖蒲池（しょうぶいけ）とボート

街中とは思えない景色が広がります。

現在

山並みと池が、当時の面影を残しています。

1950(昭和25)年

出典：札幌市公文書館

開拓使により整備された貯木池が中島公園の始まりで、1897(明治30)年から池の一部で貸しボートが行われていたことから、公園で一番古くから営業しています。1950(昭和25)年の写真からは、昔と変わらない風景が感じられます。

C 行啓通

現在

昔ながらのお店が点在しています。

1977(昭和52)年

出典：札幌市公文書館

通りの名前は1911(明治44)年、当時の皇太子（後の大正天皇）が行啓(皇族の外出の敬称)したことに由来しています。1923(大正12)年に市電が開通し、商店などが飛躍的に増えたそうです。レトロとモダンがミックスしていて、昔の面影を残しています。

このエリアで見たい！花・紅葉カレンダー

✿ 花　🍂 紅葉・黄葉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
フジ（中島公園）			✿				
バラ（中島公園）			✿	✿✿	✿	✿	✿
アジサイ（中島公園）				✿✿	✿		
エゾヤマザクラ（中島公園）		✿					
シダレザクラ（中島公園）		✿					
ソメイヨシノ（中島公園）		✿					
ヤエザクラ（中島公園）		✿					
ギョリュウ（中島公園）			✿		✿	※年によって、2回開花することがあるようです。	
ハウチワカエデ'舞孔雀（まいくじゃく）'（中島公園）							🍂
ケヤキ（中島公園）							🍂
イロハモミジ（山鼻小学校）							🍂
シダレヤナギ（中島公園）							🍂
イチョウ（中島公園）							🍂

※その年の気象によっては、大きくズレが生じることもあります。
※紅葉は、「昼夜の十分な気温差」「好ましい日当たり」「澄んだ空気と適度な湿度」といった条件が整うと、より美しくなります！

出典：北海道の緑化樹／（一社）北海道造園緑化建設業協会、（公財）札幌市公園緑化協会ホームページ、知りたい北海道の木100／佐藤孝夫 著／亜璃西社 発行

おすすめ交通機関

新型車両「ポラリス」はグッドデザイン賞を受賞しました。

ポロクル

5月1日〜10月31日

共同利用のレンタサイクル。街中にある46ヵ所のポートからポートへ自由に貸出返却可能。「1日パス」なら24時間後まで利用できてお得！

料金（1日パス）：1,080円
［携帯電話・身分証明書が必要］
※詳細は、TEL 011-242-4696
ホームページ https://porocle.jp/

市電（路面電車）

窓から眺める景色は格別！街をより身近に感じられそう。すすきのから約10分乗車で、行啓通駅に到着。

※詳細はホームページ
https://www.city.sapporo.jp/st/shiden/sidenromen.html

料金（1乗車）：大人170円、子供90円
土日祝限定1日乗車券（どサンこパス）：310円（大人1人と子供1人）

地下鉄南北線・東豊線

気軽に乗れる地下鉄が便利。

※詳細はホームページ
https://www.city.sapporo.jp/st/subway/index.html

料金（1区間）：大人200円、子供100円
共通1DAYカード（地下鉄・バス・市電）：大人1,000円、子ども500円

お世話になった中島公園のYさん

［協力］札幌市公園緑化協会 中島公園管理事務所
［制作］札幌市立大学デザイン学部 吉田研究室、（株）プラッツ
［監修］札幌市環境局みどりの推進部

■平成26年9月の情報です。情報が変わる場合がありますので、ご了承ください。

さっぽろ市
02-G03-14-1432
26-2-901